

2017年5月23日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2017年4月実績、5月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、マイナス幅が拡大
～5月はマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2017年4月の売上DIは、3月からマイナス幅が1.3ポイント拡大し、▲9.8となった。5月は、▲4.5とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲4.7→▲0.7)ではマイナス幅が縮小した一方、非製造業(▲8.6→▲10.8)ではマイナス幅が拡大した。

2 採算

2017年4月の採算DIは、3月から1.8ポイント低下し、6.3となった。5月は、8.8と上昇する見通しとなっている。

3 最近半年間の販売価格

最近半年間で販売価格を「引き上げた」と回答した企業割合は13.7%、今後の販売価格を「引き上げる」と回答した企業割合は、19.8%となった。

<調査の要領> 調査時点 2017年5月1日～8日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおりに)
有効回答企業数 1,197企業
回答率 79.8%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:長沼、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製造業（従業者 20 人未満）

卸売業（同 10 人未満）

小売業（同 10 人未満）

飲食店（同 10 人未満）

サービス業（同 20 人未満）

建設業（同 20 人未満）

運輸業（同 20 人未満）

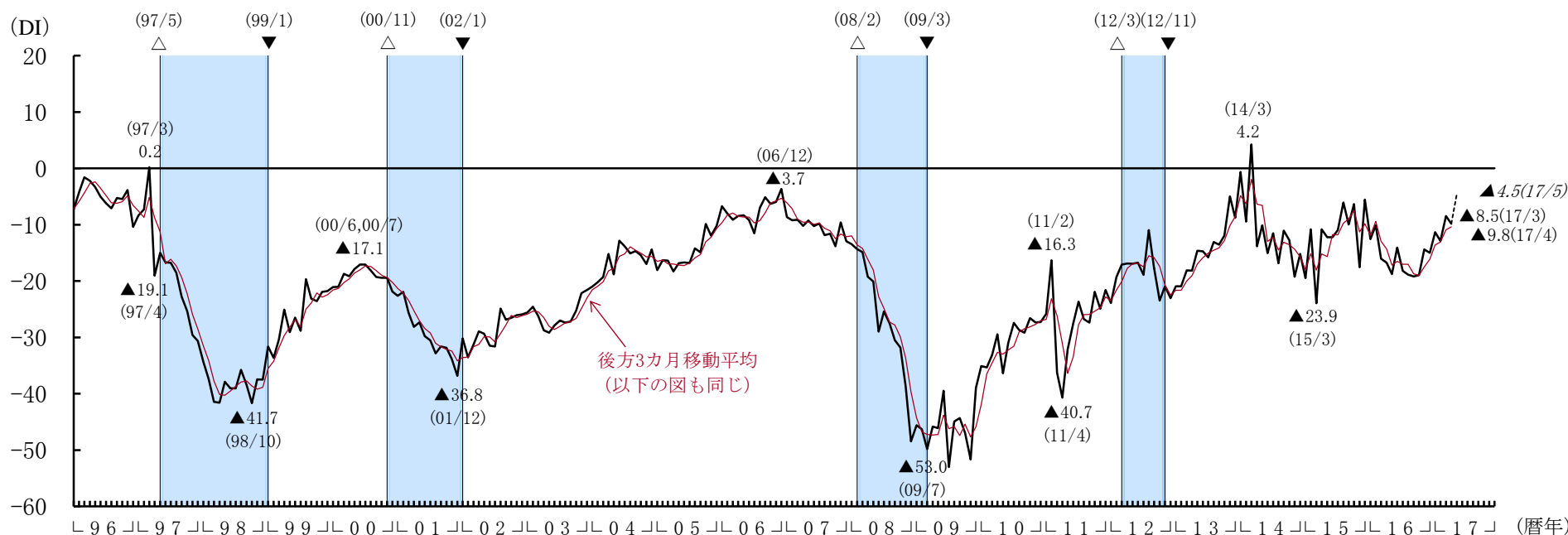
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウエイトづけを行っている。

1 売上

- 4月の売上DIは、3月からマイナス幅が1.3ポイント拡大し、▲9.8となった。5月は、▲4.5とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲4.7→▲0.7)ではマイナス幅が縮小した一方、非製造業(▲8.6→▲10.8)ではマイナス幅が拡大した。5月は、製造業では▲3.0とマイナス幅が拡大、非製造業では▲5.9とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、飲食店、サービス業、運輸業で低下している。5月は、サービス業を除く全ての業種で上昇する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2016/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017/1月	2月	3月	4月	5月
実績	▲16.7	▲18.8	▲14.1	▲18.2	▲18.8	▲19.2	▲18.9	▲14.4	▲15.0	▲11.3	▲12.9	▲8.5	▲9.8	-
見通し	▲8.5	▲13.1	▲11.8	▲13.1	▲12.5	▲13.0	▲8.5	▲9.2	▲5.9	▲6.5	▲3.3	▲6.8	▲3.0	▲4.5

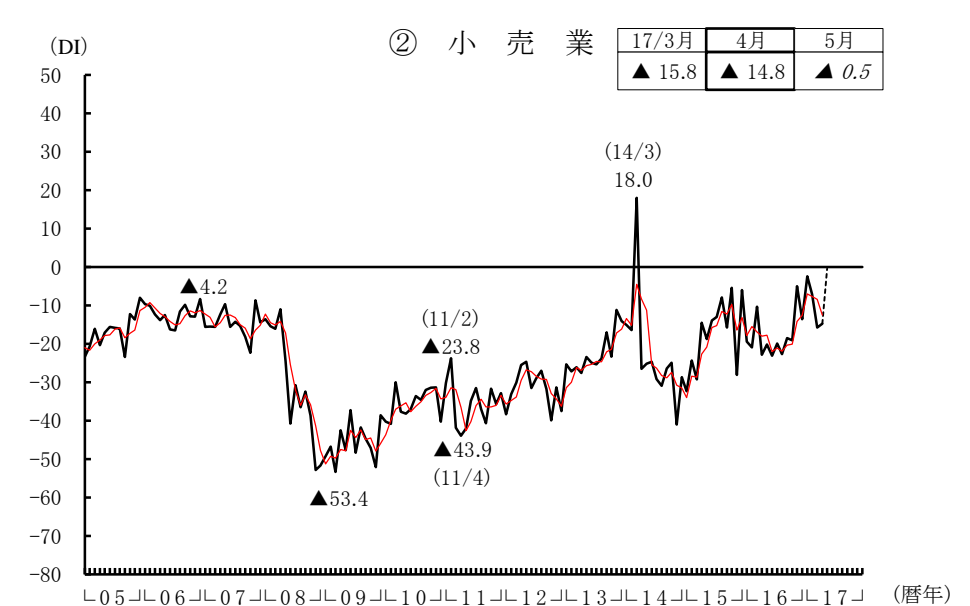
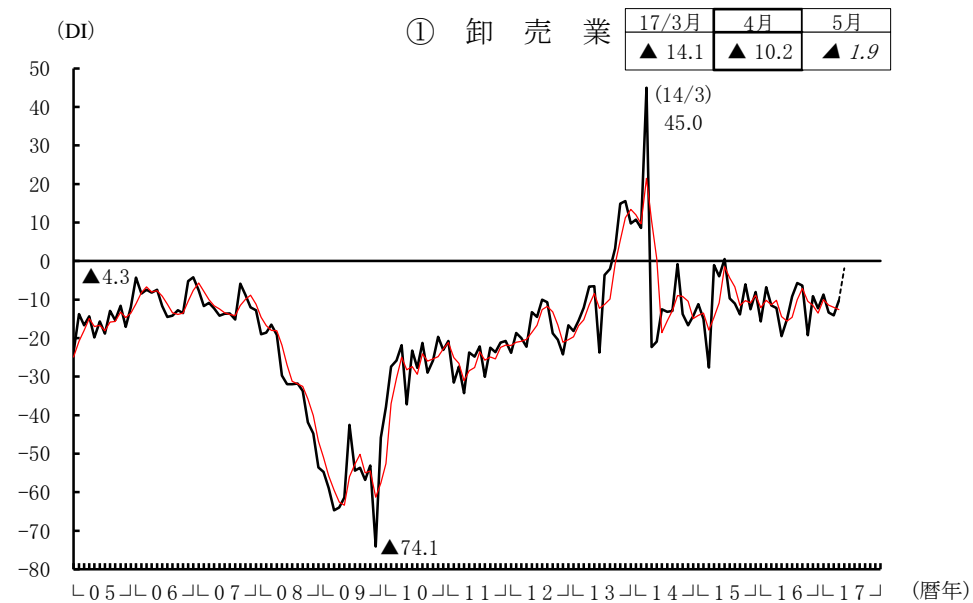
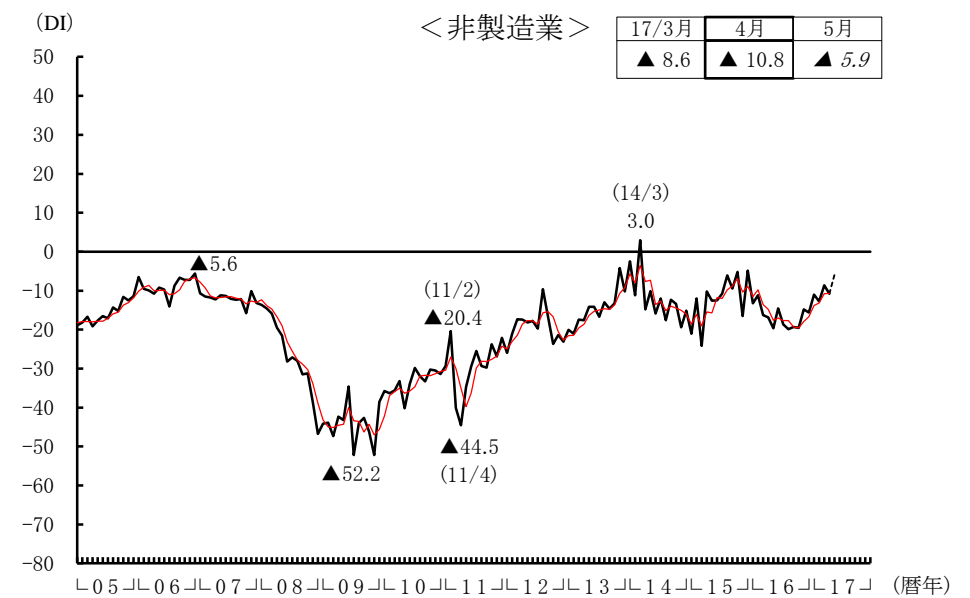
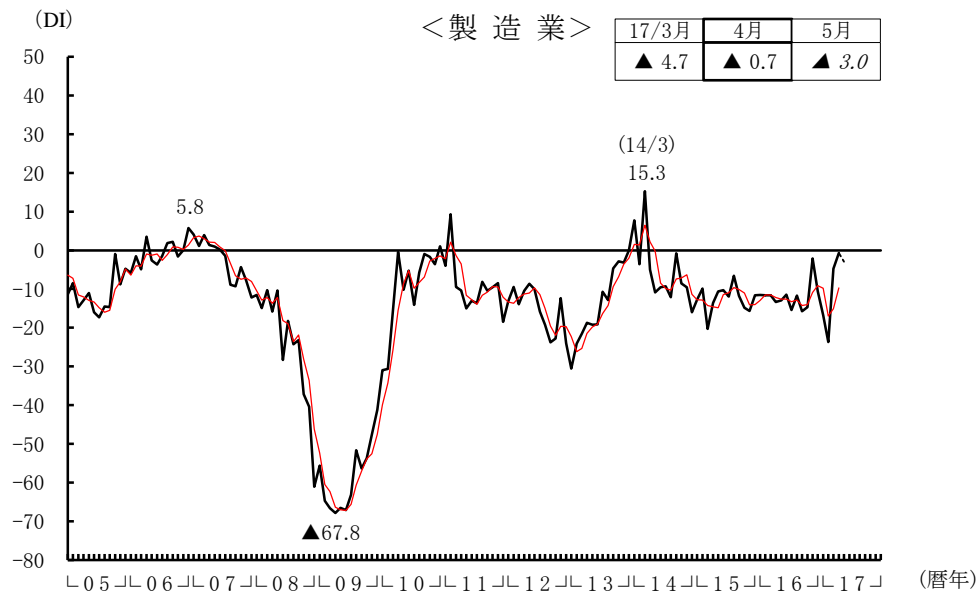


(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

3 2016年度のデータが揃ったことに伴い、季節調整替えを実施した。季節調整の方法は、米国センサス局法（X-11）である（以下同じ）。

図－２ 業種別売上DIの推移（季節調整値）



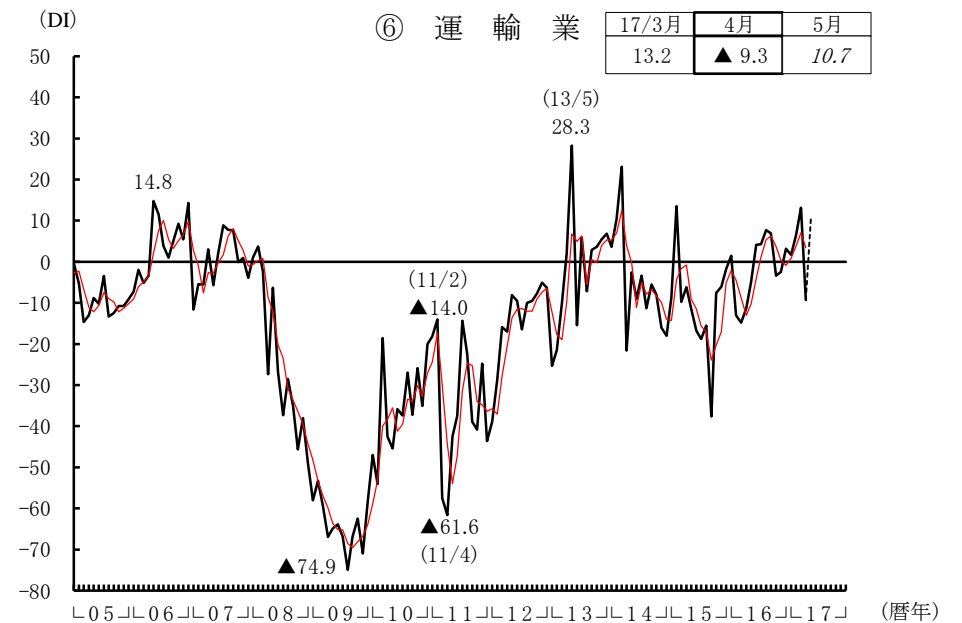
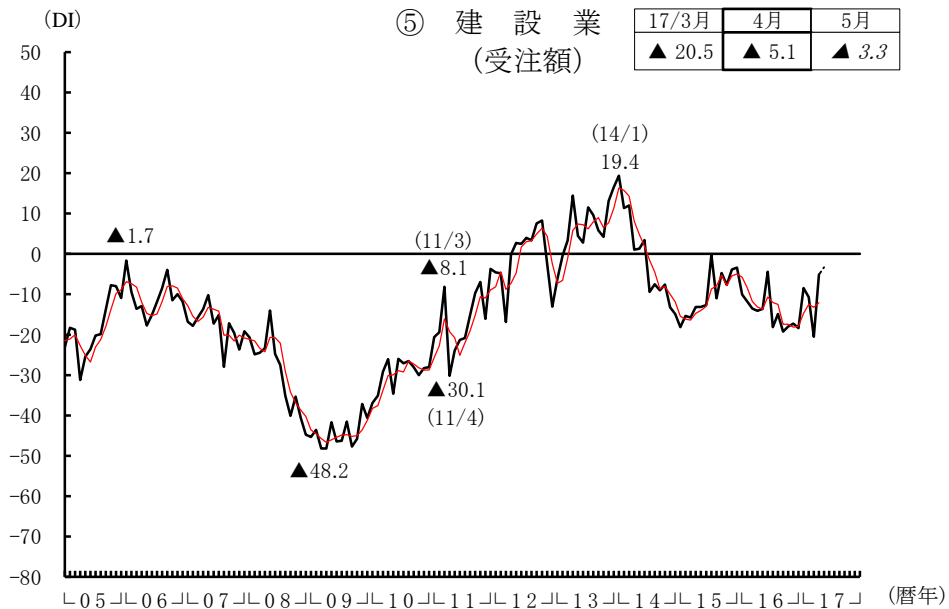
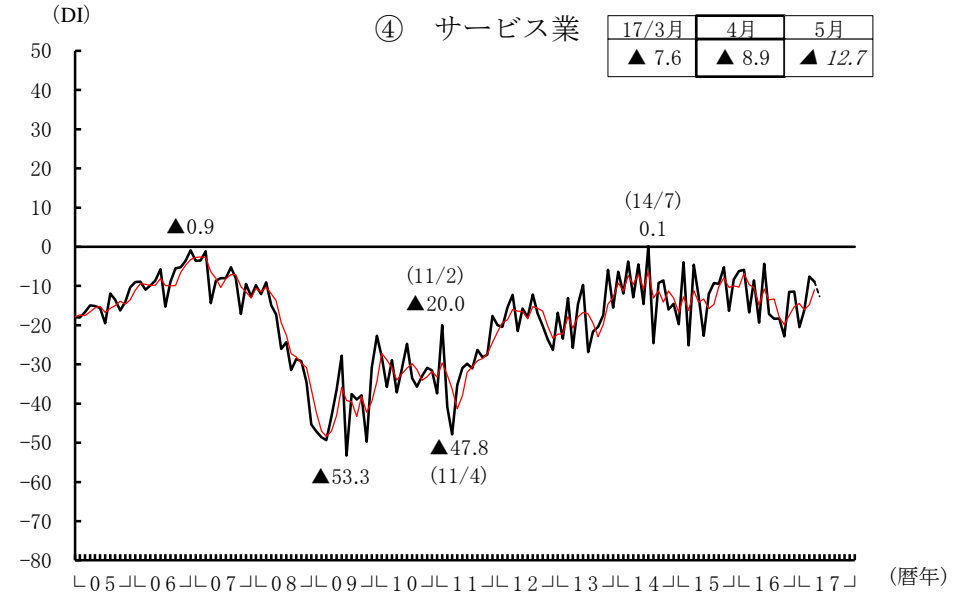
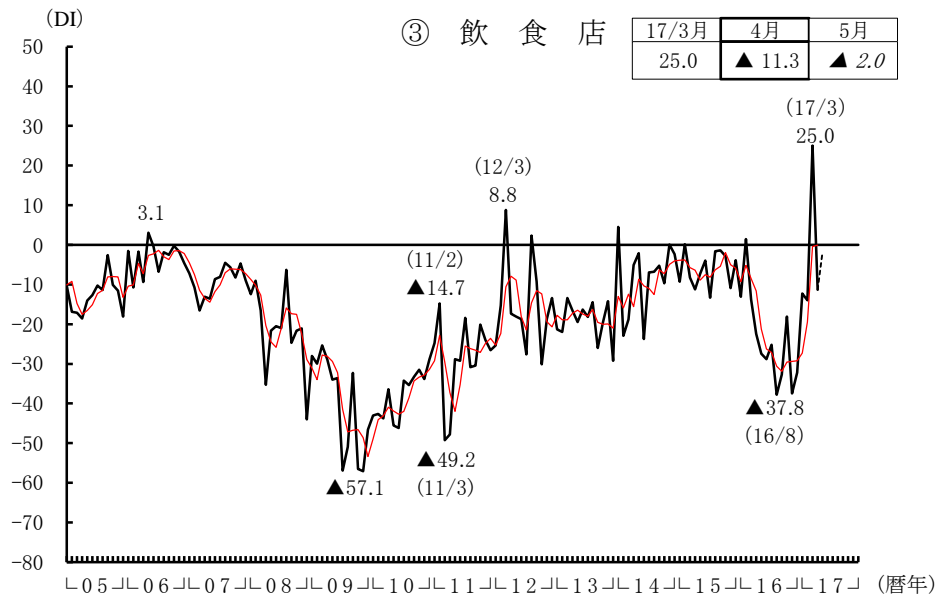


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2015年 11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	
製造業	▲15.6	▲11.6	▲11.5	▲11.6	▲11.6	▲13.4	▲12.9	▲11.5	▲15.4	▲11.7	▲15.8	▲14.6	▲2.1	▲10.6	▲16.8	▲23.7	▲4.7	▲0.7	▲3.0	製造業
金属・機械	▲17.0	▲10.6	▲10.3	▲14.7	▲13.8	▲14.4	▲11.7	▲4.7	▲17.2	▲4.0	▲5.0	▲0.6	▲2.2	11.5	▲10.2	▲9.0	▲2.8	6.6	3.1	金属・機械
その他製造	▲19.9	▲8.2	▲12.7	▲7.3	▲8.6	▲9.7	▲14.0	▲15.6	▲14.2	▲20.7	▲29.8	▲26.0	▲6.5	▲25.4	▲22.4	▲34.8	▲4.9	▲4.3	▲8.0	その他製造
非製造業	▲16.5	▲4.8	▲13.3	▲11.2	▲16.3	▲16.9	▲19.7	▲14.5	▲18.7	▲19.9	▲19.3	▲19.6	▲14.8	▲15.6	▲11.0	▲12.8	▲8.6	▲10.8	▲5.9	非製造業
①卸売業	▲12.5	▲8.0	▲15.7	▲6.8	▲11.5	▲12.2	▲19.5	▲15.1	▲9.2	▲5.7	▲6.4	▲19.2	▲9.1	▲12.3	▲8.7	▲13.4	▲14.1	▲10.2	▲1.9	①卸売業
織・衣・食	▲9.8	▲8.5	▲17.4	▲16.7	▲21.2	▲16.8	▲23.7	▲30.8	▲22.4	▲15.8	▲8.1	▲26.8	▲25.0	▲32.8	▲32.0	▲33.8	▲30.2	▲30.5	5.8	織・衣・食
機械・建材	▲17.9	▲6.4	▲15.1	▲0.2	▲1.1	▲11.5	▲11.7	▲3.3	▲0.2	1.1	▲4.6	▲15.8	▲1.2	4.2	6.1	0.4	1.4	1.9	▲7.3	機械・建材
②小売業	▲28.1	▲6.0	▲19.5	▲20.9	▲10.3	▲22.9	▲20.2	▲23.1	▲19.9	▲22.7	▲18.5	▲19.1	▲5.0	▲13.6	▲2.4	▲7.1	▲15.8	▲14.8	▲0.5	②小売業
耐久消費財	▲17.0	▲3.3	▲5.0	▲20.2	▲15.4	▲23.4	▲17.9	▲16.3	▲17.8	▲17.4	▲11.3	▲17.9	▲7.3	▲13.1	▲19.7	▲19.1	▲9.0	▲2.6	2.6	耐久消費財
非耐久消費財	▲27.2	▲7.3	▲22.0	▲20.4	▲12.8	▲22.4	▲21.5	▲24.1	▲19.9	▲23.5	▲19.9	▲19.6	▲1.3	▲14.8	1.4	▲4.1	▲20.9	▲16.7	▲2.0	非耐久消費財
③飲食店	▲10.9	▲3.9	▲13.1	1.5	▲13.8	▲22.5	▲27.4	▲28.9	▲25.2	▲37.8	▲32.7	▲18.1	▲37.4	▲32.2	▲12.2	▲14.0	25.0	▲11.3	▲2.0	③飲食店
④サービス業	▲16.4	▲8.3	▲6.2	▲5.9	▲16.8	▲8.6	▲19.3	▲4.3	▲17.1	▲18.4	▲18.3	▲22.8	▲11.5	▲11.4	▲20.5	▲16.3	▲7.6	▲8.9	▲12.7	④サービス業
事業所向け	▲17.2	▲8.3	▲5.9	8.7	▲17.7	▲10.8	▲9.5	▲11.6	▲9.6	▲10.6	▲15.0	▲10.7	▲0.2	▲17.6	▲18.1	▲13.1	▲11.2	▲13.1	▲4.0	事業所向け
個人向け	▲16.5	▲9.2	▲7.0	▲7.7	▲17.2	▲9.4	▲23.2	▲0.5	▲17.4	▲20.0	▲20.4	▲27.3	▲15.0	▲10.6	▲22.1	▲14.3	▲7.3	▲9.1	▲15.0	個人向け
⑤建設業	▲3.9	▲3.4	▲10.0	▲11.8	▲13.5	▲14.1	▲13.6	▲4.5	▲18.2	▲14.9	▲19.2	▲18.0	▲17.3	▲18.4	▲8.4	▲10.7	▲20.5	▲5.1	▲3.3	⑤建設業
⑥運輸業	▲6.1	▲1.8	1.4	▲13.0	▲14.8	▲11.3	▲4.9	4.1	4.3	7.7	6.9	▲3.4	▲2.5	3.2	1.7	6.3	13.2	▲9.3	10.7	⑥運輸業
道路貨物	▲8.0	▲3.6	1.6	▲13.0	▲15.9	▲7.0	0.8	11.4	10.5	11.0	13.5	3.2	▲3.3	5.2	1.5	4.2	14.9	▲8.2	14.5	道路貨物
個人タクシー	▲5.0	5.6	▲2.4	▲21.0	▲7.1	▲19.5	▲26.9	▲21.2	▲18.5	▲10.0	▲9.2	▲36.6	▲7.2	▲4.9	▲3.0	11.5	7.2	▲3.5	▲2.6	個人タクシー
全業種計	▲17.6	▲5.5	▲12.6	▲10.1	▲16.0	▲16.7	▲18.8	▲14.1	▲18.2	▲18.8	▲19.2	▲18.9	▲14.4	▲15.0	▲11.3	▲12.9	▲8.5	▲9.8	▲4.5	全業種計

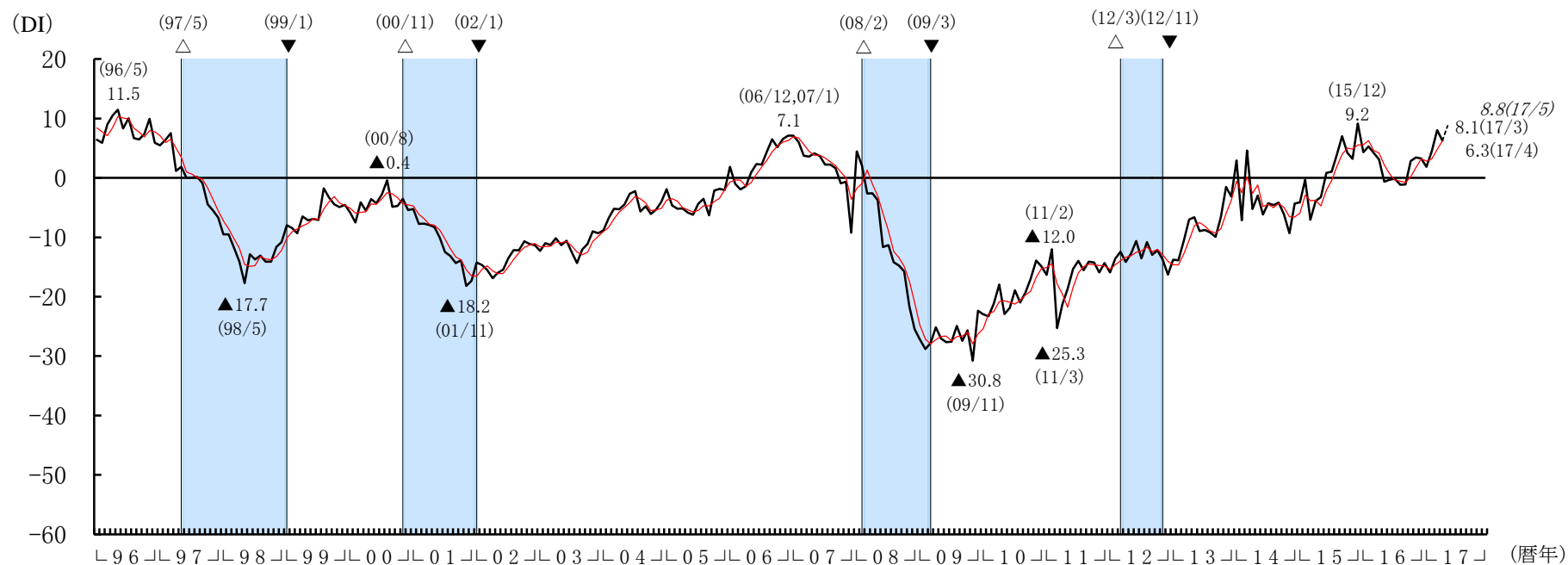
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 4月の採算DIは、3月から1.8ポイント低下し、6.3となった。
- 5月の採算DIは、8.8と上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2016/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017/1月	2月	3月	4月	5月
実績	3.1	▲0.7	▲0.3	▲0.1	▲1.1	▲1.1	2.9	3.5	3.3	1.9	4.4	8.1	6.3	-
見通し	7.1	4.9	2.7	4.2	4.1	5.1	6.6	7.5	9.8	6.8	6.5	7.6	6.2	8.8

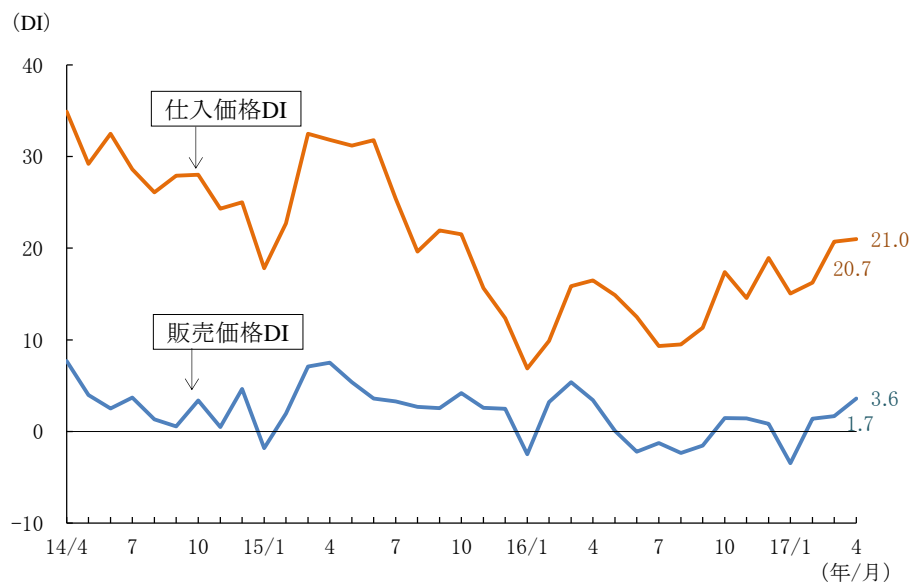


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 価格

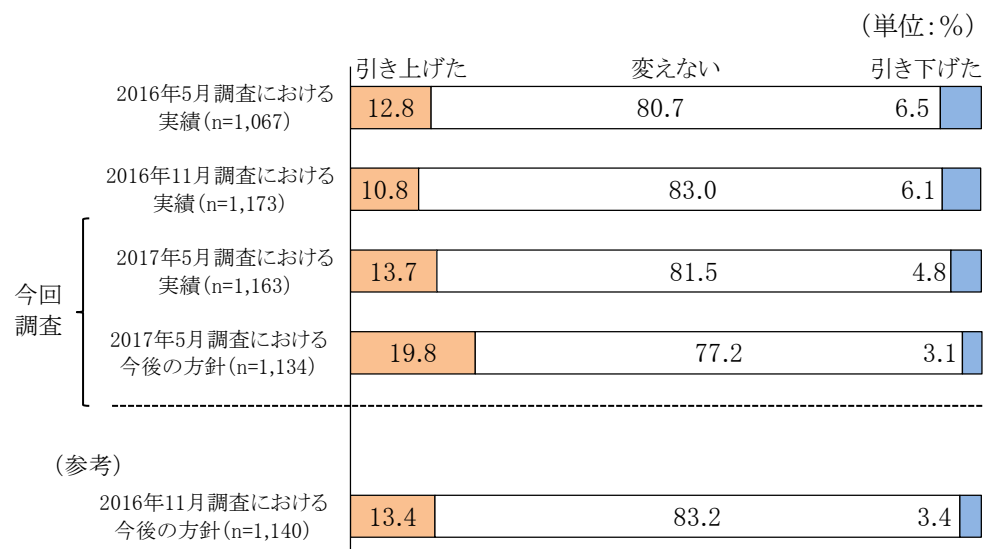
- 4月の販売価格DIは、3月から1.9ポイント上昇し、3.6となった。4月の仕入価格DIは、3月から0.3ポイント上昇し、21.0となった。
- 最近半年間で販売価格を「引き上げた」と回答した企業割合は13.7%、今後の販売価格を「引き上げる」と回答した企業割合は、19.8%となった。

図－4 価格DIの推移（全業種計）



(注) 価格DIは、前月比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合。

図－5 最近半年間の販売価格の実績と今後の方針



<販売価格を引き上げたケース>

- ・欧米の靴を取り扱っており、為替の動きに合わせて販売価格を上げている。
(靴小売業)
- ・メーカーからの仕入価格が上昇したので、販売価格を引き上げた。
(スポーツ用品小売業)
- ・仕入価格だけでなく人件費も上がっているため、価格を上げざるを得ない。
(西洋料理店)
- ・新規の取引先には仕入価格上昇分を転嫁した価格で販売している。
(金属部品製造業)
- ・小麦粉、チョコなどの仕入価格が上がれば、今後も販売価格を上げていく。
(菓子製造小売業)

<販売価格を引き下げたケース>

- ・意図的に販売価格を下げて、販売量の拡大を図っている。
(電気機械器具小売業)
- ・顧客を確保するため、入会費を下げた。
(学習塾)

<販売価格を変えないケース>

- ・販売価格は変えず、仕入商品や販売商品のメニューを変えて対応している。
(その他一般機械器具卸売業)
- ・割引率を下げるなどして、販売価格は変えずに採算が合うように調整している。
(洗濯物取次業)